

# 聖化

Japan Holiness Association

[発行] 日本聖化協力会

2012.10.5  
No. 52



## きよめの深まり

インマヌエル高津キリスト教会牧師 藤本 満

アブラハムはその晩年になって人生最大の信仰の試練を神から受けました。一人息子のイサクを捧げよと言われ、彼は従順にも、しかし悶々とモリヤの山に息子とともに旅をします。何も知らない息子をしばり、刀を振り上げた瞬間、神さまから「待て！」の声を聞きます。

神さまはモーセにおっしゃいました。「今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった」(創世記二二・12)。

この言葉には戸惑います。神さま、今までわからなかったのでしょうか？ 私がどんなにあなたを畏れかしこみ、あなたを第一としてきたか。「父の家、生まれ故郷を出て、わたしの示す地に行け」とおっしゃったときに、私の信仰生涯は始まりました。「わたしの前を歩み、全き者であれ」との声に従ってきよめに生きることに踏み出しました。でも、晩年にこんな試練を与えられ、「今、わかった」とおっしゃるとは……。あなたは今まで私の信仰と献身がわからなかったのでしょうか？

そうではないでしょう。今ここで、彼の信仰は決定的に深められます。試練の中で神さまが全的

にうなずかれるほど、彼の献身は深く確かなものとなります。

中学生の頃、友だちに誘われて代々木のオリンピック・プールに何度も足を運びました。お目当ては飛び込みです。3メートルの飛び込み板の上に初めて立ったときのことをよく覚えています。板はゆらゆらしなります。板の弾力でさらに高く飛び上がり、回転を加えてジャンプする人もいます。プールは水深5メートル。

私は身体を震わせながら、最後は棒のように固くして、足から飛び込みました。どれほど深く潜れたかもわかりません。ただひたすら水面向かってまがきました。

爽快でした。ガッツポーズでプールから上がりました。あれが、「あのときの私」にとつての精一杯でした。

そうして、神さまの愛に飛び込みます。精一杯の3メートルが、やがて飛び込む高さも上がり、潜る深さも増していきます。信仰と献身の深化は聖霊の働きであり、日々の熟練でありましょう。しかし、試練は決定的な機会となります。試練は、神の愛に飛び込み、深く潜るジャンプ台です。

### もくじ

- 巻頭言メッセージ…………… p.1
- 新刊書「光に打たれて」紹介…………… p.6
- 論説：ウエスレー神学の豊かさ…………… p.2-3
- ロダール博士紹介、著書の紹介…………… p.7
- 証し：自分と向き合ったときから…………… p.4-5
- 各地の聖化交友会、編集後記…………… p.8

論説

# ウェスレー神学の豊かさ

日本ナザレン教団小岩教会牧師 坂本 誠



アメリカのナザレン・セミナリーに入学したのは1983年、学生数450人のセミナリーでの学びは充実したものでした。そこでは、ウェスレーン・ホーリネスの伝統に立脚して様々な学びが提供されていました。

ウェスレーン・ホーリネスの伝統に生きるということは、私たちがウェスレーの生涯と思想を解釈するときにホーリネス思想を中心に据えることを意味します。十九世紀のホーリネス運動も、ウェスレーが強調する「救いの方法」に忠実でありたいと願った者たちから起こったものです。

ウェスレーの神学は、神学を行うこ

とがどのようなものか、方法や結論を与えてくれます。留学時のキャンパス内でのアルバイトには教授室の掃除も含まれており、ウェスレー神学を教えられてステープルス博士の部屋を掃除するのは楽しみの一つでした。そこにはウェスレー関係の神学書や資料がびっしり。私がウェスレーを学びたいと願った原点がそこにあります。

ウェスレーは、救いは人生の中で起こる転機的で瞬間的な体験以上のものであると定義しました。それは、生涯において起こる内的・外的な聖化をも意味しました。人が新しく生まれ、聖化の道を天国をめざして歩む道筋が、クリスチャンの歩みです。その道は、社会にも影響を与える幅広さをもった王路です。

これは私たちが二十一世紀に突入し、一方で原理主義を、他方で宗教的な相対主義を経験している今日において特に重要です。ウェスレーは「心と生活のホーリネス」を強調しました。この概念はすべての世代において重要です。私たちはウェスレーンの神学的パラダイムのダイナミクスを大切にしたいと思います。

帰国後、ウェスレーの研究書をつこつと集めつつ、青山学院大学のウェスレー図書館に通い、論文を書きつつ貴重な資料に目を通す機会が与えられました。そこで発見したことはウェスレー神学の豊かさでした。

ウェスレー神学を理解するためには、二つの重要な影響を頭に入れておくべきです。まず重要なのはウェスレー神学の源泉です。

ウェスレーは初代教会（特にニケーア会議後および東方教会の伝統）、中世のカトリック神秘主義、プロテスタントの宗教改革（カルヴァン、ルターの伝統、アルミニウスの反論およびルター派の流れを組むモラヴィア派の敬虔主義）、そして何よりもアングリカニズム（特にエリサベス王朝に追隨した時期 カロライン神学）の影響を受けています。ウェスレーの神学の基礎には、これだけの神学が横たわっています。ウェスレーはそれぞれの神学的要素を統合したと言えるでしょう。何と豊かな源泉でしょう。

ウェスレー神学を学び、帰国して3つの教会を牧会している時、ウェスレーンの牧会とはどのようなものである

ジョン・ウェスレーの神学を研究する神学者であり、教会を牧会する牧師、そして『ウェスレーの聖餐論——宣教のわざとしての聖餐』（教文館）、『人物でたどる礼拝の歴史』（共著／日本基督教団出版局）の著者でもある坂本誠先生に、学んでこられたウェスレー神学について、その一端を「論説」として書いていただきました。

ウェスレー神学の歴史やその核心など、全体像をまとめていただいただけでなく、神学に対する先生の熱い思いをも見せていただきました。私たちがまた学びつつ、伝えられた貴重な信仰をさらに探求して行きたいと思います。

のかという問いが起こったのです。いかにホーリネスのメッセージを人々に伝え、天国への王路を歩む生き方を徹底させることができるのか。その時、ウェスレーの豊かさが神学的源泉だけにとどまらず、神学を支える基盤が豊かであるということに気づきました。ウェスレーの四支柱といわれているものはご存知でしょうか。ウェスレーは聖書を何よりも優先して大切に考えました。ウェスレーは「一書の人」でした。しかし同時にウェスレーは聖書を他の支柱との関連で解釈しなければならぬと考えていました。解釈の歴史は常に検証されなければなりません。聖書は、理性の助けをかりて、理解され、関連づけられ、効果的に伝えられていきます。聖書の解釈が伝統に照らし合わせて受容可能かどうかが重要です。さらに、聖書はキリストを信じることによって起こる個人的経験だけでなく、教会という共同体の経験によっても検証されたのです。四支柱による解釈の方法の到達目標は、神学的・教理的な特質だけではなく、スピリチュアル・フォーメーション（霊性の形成）につながるものです。これは

誰にでもウェスレー神学が身近なものであることを示しています。ホーリネスに至る様々な道筋が用意されているのです。

ウェスレーは、様々なものを関連づけながら、恵みに応答すること（Responsible Grace）を強調しました。そのような恵みへの応答がウェスレーの全システムの中で最も中心となるものです。そこでは、神に主権をおきつつ、恵みを受けた私たちがいかに恵みに応答するかという責任が問われているのです。ウェスレーの方法論と教理は、ウェスレアンがいかに世界を見つめるかのヒントを与えてくれます。個々のクリスチャンは、救われ、教会につながり、共同体的な恵みを分かち合い、恵みの手段を用いて、その恵みを増し加え、キリストに倣う者として歩み、天国に至るまでの王路を歩むのです。

ウェスレーの教会の教理の中心は、相互養育です。霊的に成長していくことはウェスレアン主義の核心です。ウェスレアンの文脈において、仲間のキリスト者と相互に信頼することによりホーリネスと愛において成長すること

を付け加えることができます。

ウェスレーはキリスト教育はソサエティや教会でおこると考えていました。ウェスレー神学においては聖化の道を歩むために、現在の状態に対する聖なる不満足、つまり個人が変容していく過程を保つために、不満足が付随して起こる必要があります。

成長は、個人の変容が教会の仲間と共に育まれ、世の変容とつながっていくのです。ウェスレーの非常に厳格な個人のホーリネスに対する焦点は、個人を自分のまわりの人々に対して全き愛の代行者とするということです。それが「慈愛のわざ」と呼ぶものにつながります。

以上のことから、ウェスレー神学の魅力がみえてきます。それは包括性・統合性、バランスです。神の恵みの主権と人間の責任ある応答、信仰と行いの両面の重要性、心と生活の包括性、キリスト教神学の中で、これほどバランスがとれた神学は他にはありません。

ウェスレーの伝統に導かれたことを共に感謝しつつ、聖化の宣証に共に邁進しましょう。豊かさを味わい！

自分の人生は自分で切り開いてゆくものだと教えられ、そう信じて生きてきました。しかし、そんな自分ができるはずもないと思っていたことをしたとき、はっきり分かりました。私は幸せになつてはいけない。人生に希望がなくなり、人生を捨てたときでした。残されていたのは、せめて人の役に立つような生き方をしたい。その努力も虚しく終わったとき、一人の方に出会いました。私の人生に起こった誰にも言わなかったこと、言えなかったことを聞いて下さいました。これを話せば全てが終ると思つたとき、その方は、全てを受け入れてくださり、咎めませんでした。その方は、クリスチャンでしたが、キリストから離れていました。それでも、その方は言いました。「あなたとは、神さまも赦してくれる兄弟のようになりたい」と。そして2か月後、その方が日本を離れたとき、大地が奪い去られるような経験をし、私は初めて、本気で自分と向き合いました。分かったことは、自分の罪深さでした。自分の存在自体が人を苦しめている。生まれて初めて死にたいと本気で思いました。しかし、死ぬに死ねず、生きるに生きられず、地獄のような日々でした。そんなある日、奈落の底に突き落とされる夢を見て、目が覚めました。そして、これしかない取り出して読み始めたのが聖書でした。「神さま、イエスさまが神さまなら全知全能のほうです。わたしに分かるように、あなたが神だと教えてください」と本気で祈りました。

そして、ついに、私が赦されるはずもないと思っていた罪を、イエスは赦してくださいました。「わたしもあ

## きよめの証し

# 自分と向き合ったときから



ウェスレアン・ホーリネス教団

東戸塚エルシオン教会 藤富 明子

なたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない」「あなたは生きていていいのだよ」と言われた思いがしました。かつて経験したことのない愛でした。聖書には罪を犯さない清い生き方ができると書いてありました。思い出す限りの罪を告白して、謝罪の手紙を書き、返す物を返して、自分で処分できないものを牧師先生のところへ持って行きました。先生は「罪を喜ぶような時代の中であつて、罪を悲しむ人にしてくださったことを感謝します。」と祈ってください、一緒に「主の祈り」を唱和しました。涙と鼻汁で祈れませんでした。

洗礼式に両親が来てくれました。父は洗礼式のあいだ中、私の後ろで泣いていたそうです。

このイエスさまについて行く以外に道はありませんでした。このイエスさまに出会えば、誰でも生きてゆくことができる。イエスさまをお伝えしたいと心から思いました。しかし、そんなときに、サムエル・ブレングルの「聖潔の琴」で、「きよめとは、神がなせといわれることをなし、なれと言われる者になろうとする心と生活」であると知りました。自分の願いを表現することではなく、神さまの御心に生きることがきよめだと知って、「はい、神さまのおっしゃるとおりに生きます」と心から告白することができ、きよめの確信をいただきました。間もなく、教会献身の道が拓かれました。父が胃ガンで入院したとき、私はあとのことを母に託して、教会に住み込みました。きよく生きること、それがわたしの憧れであり、目標となりました。ですから、イエスさまだったら、今、

どうされるのだろうか、と祈りつつ、行動するようになりました。

召しの声を聞いたのは、受洗後、間もないときでした。「あなたに何の関わりがあるか、あなたは、わたしに従いなさい」(ヨハネ二・22口語訳)。

その後も、きよめからの転落はありました。

教会献身をしていたときに、あとから献身する人が次々に神学校に入学していきました。最初のうちは、人は人、自分は自分と思っていました。周りの人々の言動に左右されて、指導してくださる先生の悪口をいうようになりました。これはいけないと気づいた私は神さまに謝りましたが、どこか先生との間にわだかまりが残りました。その直後の聖会で「愛は関係を回復する」と言われ、集会后直ちに、先生に謝りに行きました。先生は「あなたがわたしに躓<sup>つま</sup>っていたことはわかっていましたよ。こちらこそすみませんでした」と謝られ、祈ってくださいました。わだかまりは消え、平安が戻りました。

その後も、主のお取り扱いは続きました。「先生のこと、嫌なやつが来たよ」と言っていたよ、と言われたり、先生はプライドがあるとと言われる、よかれと思ったり、やることが届かない、心をひとつにして祈れない、愛する神のこどもたちが教会を離れてゆく、等々。痛みを伴う苦しみが続き、伝道者をやめたいと思うことも何度もありました。

キリストを信じる直接のきっかけとなった兄弟は20数年を経て、教会に戻っていました。天国でしか逢うことはないと思っていた兄弟に会いました。破格の恵みでし

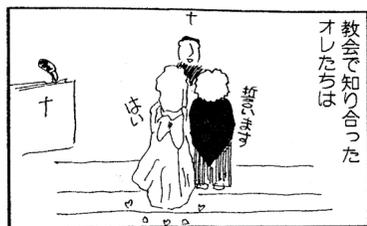
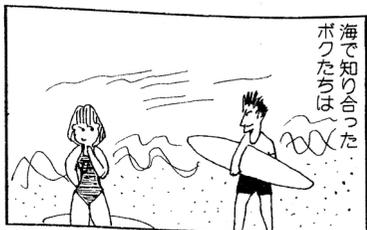


た。ときに集会で会い、七夕のように何度かお会いしました。そして、昨年3月11日の東日本大震災で、もう一度兄弟に会いたいと思いました。私の罪のために、一緒に苦しんでくれて、そして、突き放してくれて、本当の自分に向き合わせてくれた方です。私は神さまに話しました。「神さまあなたが、兄弟のようにしてくださいませんか。私にはありませんか。神さま、私の力ではやめられませんが、もし間違っているなら、あなたが教えてください」と。すると昨年9月夢を見て、「先生、キリストの十字架の血をピンクにしたらだめじゃないか」と言われたときにはっきり分かりました。その兄弟をささげなさい、全家が救われるまで、主に任せなさい、と。勿論すべてを主にお返ししました。

召してくださいました主に感謝していますし、愛されていることも疑ったことはありません。それでも、私は逃げ出したいことがあることがあります。そんなとき私は話します。「神さまは、こんな私であることをよくよくご存じで召してくださいましたのですよね。間違いだと思わないように、声を聞かせてくださいましたのですよね」と。留守番が一番嫌だった私が、単身で牧会をして7年目を過ぎています。孤独との戦いの中で、「私がいるから大丈夫だよ、あなたを捨てることはないから、私が責任を持つから」とイエスさまは言ってくださいます。ですから、わたしは祈ります。「あなたが私を占領してください」と。どんなに足りなくても、失敗しても、罪を犯しても、赦して、愛して、立ち上がらせてくださる主を心から感謝しています。

# 直次郎

こっちのダーリン



©富無尽蔵

# New Books

新刊書ご案内

スティーブ・ハーパー聖化大会説教集

## 光に打たれて

飯塚弘道訳／飯塚俊雄監修 1,000円(税別)



この本は2010年、関東聖化大会にスティーブ・ハーパー博士をお迎えした折、5回にわたって語られた説教と講演をまとめたものです。全体は5つの章からなっています。聖化大会のプログラムに従って並べられ、青年向きのもの、女性大会で語られたものと、テーマや内容にもバラエティーがあります。読んでみるとすぐ

にわかることですが、ホーリネスの教理の全体像を見渡すことができます。ホーリネスが神さまの本質であり、だからこそ啓示としてご自身の聖さを私たちに見せてくださったことが、改めて頷かされます。聖化を成し遂げてくださる三位一体の神さまについても丁寧に語られています。

全体の基調は「愛」です。だから、そこには私たち一人ひとりを大切にしてくださる恵みの多様性が明らかにされます。「きよめられたらこうなるはず」とワンパターンで考えていたことが反省させられます。わずか88ページの本ですが、内容も恵みも豊かです。自分の信仰をチェックするためにも一読することをお薦めいたします。

### スティーブ・ハーパー博士の書籍ご案内



#### 信仰生活の手引き

國重潔志訳 一、三〇〇円＋税

日々のデイポーション(神との交わり)を形作るために——ジョン・ウェスレーから「恵みの手段」を学ぶ——二十一世紀に生きる私たちへの「信仰生活の手引き」。



#### 現代に語るウェスレー神学

梅田 昇訳 一、四〇〇円＋税

ウェスレーの神学を「救いの順序」に従って解説する。ウェスレーの全体像を捕らえようとする人のための道案内に。



2012年 聖化大会に講師としてお迎えする

## マイケル・ロダール博士プロフィール

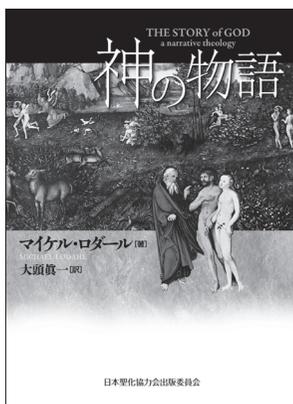
Dr. Michael Lodahl Ph.D.



今年の聖化大会に、米国ナザレンの神学者・説教者マイケル・ロダール博士をお迎えします。それに先か  
けて、昨年、その著作『神の物語』が翻訳・出版されました。ロダール博士は、歴史神学・世界宗教を講  
じるオールラウンドな学者で、この書にも見られるユダヤ教と東方キリスト教に関する幅広い優れた洞察をお  
持ちです。

ノースウエスト・ナザレン・カレッジ、ナザレン・セオロジカル・セミナリーを経て、エモリー大学で哲学博士  
号を取得。ノースウエスト・ナザレン・カレッジに続き、1999年から現在までポイント・ローマ・ナザレン・カレ  
ジ（カリフォルニア州サン・ディエゴ市）で神学と宗教学の教授として、組織神学・歴史神学・世界宗教を担当。

著書は、Shekhinah/Spirit: Divine Presence in Jewish and Christian Traditions, Embodied,  
Holiness: Toward a Corporate Spirituality など多数。



聖化大会講師の著書 日本聖化協力会出版委員会 2011年発行

## 神の物語 THE STORY OF GOD

マイケル・ロダール著 大頭眞一訳

352ページ 定価：3,500円＋税

- ● ● 『神の物語』は、ウェスレアン神学を現代に語る、新しい組
- ● ● 織神学の教科書です。物語神学の切り口で、聖書に流れる
- ● ● 一貫した聖化のメッセージを提示してくれます。

書評 藤本 満（インマヌエル高津教会）

聖化を学び、生きようとする私たち  
ですが、聖書の教えを離れて、どこか  
教義的に聖化を捉えてしまうことで、  
教会が傷つき、聖化の教えそのものが  
傷つくことを体験してきました。この  
書は題名が示すように、神学を聖書の  
物語で解説していくという手法を用い  
て、聖書の物語に慣れ親しんでいる私  
たちに説教を語るかのようにして、領  
きを与えてくれます。「難しい神学も、  
こうして読むと心に届くよ」と言わん  
ばかりに、聖書を解き明かしながら、  
神学の主題・神学の課題へと私たちを  
連れて行ってくれます。

この書のもう一つ魅力は、ウェスレ  
アンの立場を大胆に現代に生かすこと  
に情熱を燃やしていることです。ウェ  
スレアン神学の立場で、現代のさまざ  
まな課題を意識しながら神学を語るの  
は至難です。著者は、歴史神学・世界  
宗教を講じるオールラウンドな学者と  
して、それを見事に描き出しています。  
神が人を創造し、人の罪に傷つけられ  
ながらも、人と共に働いて世界を贖い、  
やがてそれを完成されるという物語に  
よって聖書全体を概観し、教会歴史の  
豊かな広がりを描いています。

出版新企画のご案内

聖書に根ざしたきよめを追求する  
日本聖化協会の牧師たちによる説教集

ホーリネス・メッセージ集

刊行準備中!

明年10月の聖化大会にはお手許に!

好評を博した『ホーリネス——牧師15人のメッセージ』発行から9年、私たちの身近な先生方によるホーリネス説教集を求める声が多く寄せられています。  
出版委員会では、それにお応えするため、新しい企画を準備しています。今回は、聖会などの説教で取り上げられることの多い聖書箇所から、ホーリネス・メッセージを語っていただきます。出版まで少し時間がかかりますが、ご期待ください。

2012年10月に開催される聖化大会

宮城	第24回	仙台聖化大会	10/8	工藤弘雄師	日基	仙台青葉荘教会
関東	第27回	関東聖化大会	10/14~16	M・ロダール師	WH	淀橋教会
東海	第25回	東海聖化大会	10/18	M・ロダール師	IGM	名古屋教会
大阪	第63回	Wに学ぶ会	10/19	M・ロダール師	ナザレン	大阪桃谷教会
岡山	第10回	備前聖化大会	10/21	M・ロダール師	日本イエス	香登教会
九州	第23回	九州聖化大会	10/23	M・ロダール師	兄弟団	福岡教会

\* 聖化大会についての詳細は、日本聖化協会のホームページをご覧ください。各地域の聖化交友会のご案内が掲載されています。http://jha.christ.gr.jp/

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教会、あるいは個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを教会に、お住まいの地域に広げていきましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。

北海道聖化大会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウェスレーに学ぶ会／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

みことばに導かれて 日々の生活を!

牧会者、伝道者として、聖書学者、神学者として、幅広くキリストに仕える著者が、時には説教のように、時にはエッセイのように、証しや体験談を交えて神の恵みを語る。

エマオの道で  
365日の霊想

デニス・F・キンロー著  
三、四〇〇円＋税



さと題して書いていただきました。証しは藤富明子先生です。今回も読み応えたっぷりの充実した内容となり、感謝です。秋は聖化大会の季節。各地できよめの恵みが語られ、それが体験されることを祈り、期待しております。(矢木良雄)

編集後記

聖化52号をお届けします。瞬間に半年が過ぎてしまいました。今年は各地でゲリラ豪雨が発生し、大きな被害が出ました。自然界の呻きを聞いたように思いました。

論説は坂本誠先生に、ウェスレー神学の豊か

聖化 No.52 2012年10月5日発行

発行 日本聖化協会 101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 電話/Fax 03 (3293) 5130  
E-mail kjha1985@aria.ocn.ne.jp URL http://jha.christ.gr.jp/ 編集担当: 矢木良雄/錦織 寛